

スポーツ史 学会だより

第151号

2023年12月25日発行

スポーツ史学会事務局

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28

十文字学園女子大学

神田研究室内

TEL : 048-260-7656

E-mail : s-kanda@jumonji-u.ac.jp

<http://sportshistory.sakura.ne.jp/>

I. 事務局報告

1. 会況報告(2023年11月27日現在)

1) 会員総数228名

(正会員207名、学生会員21名)

賛助会員1機関2名

2) 会費納入状況

2023年度納入者数 138名

2022年度納入者数 188名

2021年度納入者数 213名

3) 今年度会費収入総額 1,405,000円

2. 会費納入のお願い

今年度会費(正会員8,000円、学生会員5,000円、賛助会員一口10,000円以上)の納入はお済みでしょうか。未納の会員は下記まで納付をお願いいたします。

会則第9条により、3年を越えて会費を未納の場合には、会員資格を喪失することになります。また、2年間会費未納の場合には一部会員サービスを停止させていただきます。なお、会費納入状況等についてのご質問がある場合は、事務局までお問い合わせ下さい。

郵便振替口座 : 00940-7-282457

加入者名 : スポーツ史学会

3. スポーツ史学会第37回大会の開催

本年度の学会大会は12月2日(土)~3日(日)に、東海

学園大学において開催されました(木村華織会員)。

第1日目は3題の一般研究発表がありました。続いてシンポジウム「歴史のなかの多様性—身体・ジェンダー・障害—」が開催されました。佐々木浩雄会員の司会のもと、三成美保氏(追手門学院大学教授)、藤井渉氏(日本福祉大学准教授)、來田享子会員(中京大学教授)の3名にご登壇いただき、フロアからの質疑応答も含めて活発な議論が展開され、盛会のうちに終了しました。

第2日目は、11題の一般研究発表がありました。終了後、総会が開催されました。

4. 令和5年度総会について

令和4年度総会が次の通り開催されました。

期 日:12月3日(日) 16時30分~17時30分

会 場:東海学園大学

0. 学会賞表彰

総会に先立ち、以下の通り奨励賞表彰が執り行われました。

令和5年度スポーツ史学会「奨励賞」表彰

著 者: 渡邊 瑛人 会員(日本体育大学)

題 目: 『日本におけるバスケットボールのゲーム分析に関する歴史的研究—吉井四郎のスコアシートに着目して—』

令和4年3月発行(スポーツ史研究第35号)

佐々木選考委員長より、本年度の学会賞(学会賞は該当なし)及び奨励賞について報告の後、松本会長より渡邊会員へ学会賞が授与されました。その後、藪会員より学会賞受賞の挨拶をいただきました。

1. 会長挨拶

2. 議長選出

市場俊之会員が議長に選出されました。

3. 報告事項

1) 会況報告

事務局より、2023年9月16日現在の会況について報告されました。

2) 令和5(2023)年度 事業・会計中間報告

事務局より総会配布資料に基づいて、今年度の事業・会計中間報告が行われました。

3) 編集委員会報告

編集委員長より、『スポーツ史研究』第37号を今年度末発刊予定で編集を行っていること、その際、巻末に「会員活動報告」を掲載するため「学会だより」(151号)に用紙を同封するので、記入の上、返送願いたい旨、報告がありました。

5) 会報『ひすぼ』について

企画委員長より、今年度は115号～117号の発行を予定しているが、116号までは発行済み、117号は年度内に発行する予定である旨報告がありました。また、1月末が〆切の117号について投稿のお願いがありました。

6) 次期学会大会について

企画担当理事より、第38回大会については理事会で協議の結果、早稲田大学(石井昌幸会員)で開催することが決定し、会期は、2024年11月末もしくは12月初頭の予定である旨報告があり、続いて当番校の挨拶(石井会員の代理で早稲田大学川島浩平氏)がありました。

7) 事務局よりメーリングリストの運用開始の報告及び未登録会員への登録のお願いがありました。

4. 審議事項

1) 令和4(2022)年度 事業・決算報告について

事務局より、事総会配布資料に基づき、事業・決算報

告について原案が示され、審議の結果、原案通り承認されました。

2) 令和6(2024)年度 事業・予算案について

事務局より、総会配布資料に基づき、令和6(2024)年度の事業計画案、予算書案、学会活動準備金収支予算書案について、原案が提示され、審議の結果、原案通り承認されました。

3) スポーツ史学会研究助成規程の改正について

スポーツ史学会研究助成規程の改正について、配布資料に基づいて説明があり、規程の条文の文言について会員より意見がございましたが、協議の結果、共通の認識が図られたため、文言の調整については理事長に一任することが提案され、承認されました。

5. 閉会の挨拶

5. 会議の開催

以下の会議が開催されました。

【理事会】

第167回 2023年12月3日(奈良教育大学)

【総会】

令和5年度総会 2023年12月3日(奈良教育大学)

6. 日本学術会議刊行物

月刊『学術の動向』2023年10月号が事務局に届いています。目次のコピーを同封いたしますので、関心をお持ちの方はご連絡ください。

なお、特集記事は<http://www.scj.go.jp> からも閲覧可能です。

7. 「会員活動報告」の連絡について

『スポーツ史研究』第37号の巻末に掲載する「会員活動報告」の用紙を同封しますので、令和5(2023)年の研究活動報告(「修士・博士論文報告」は令和3年度を含む)をご記入のうえ、2024年1月31日までに事務局まで提出(メール送信で構いません)下さいますようお願いいたします。

8. スポーツ史学会学会賞の推薦について

令和6年度スポーツ史学会学会賞の候補論文(著書)の推薦依頼書を同封しますので、ふるってご推薦

下さい。学会賞、奨励賞ともに、所属機関の異なる2名以上の会員の連名で推薦することができます。推薦の際には、応募書式(推薦書式)に沿って作成した推薦書を、2024年2月末日までに事務局にご提出下さい。

今回は2023年1月1日から12月31日までに刊行された『スポーツ史研究』、その他の学術雑誌の論文および学術的著書が対象となります。著者(ファースト・オナー)が本学会員で、内容がスポーツ史に関連するものに限られます。

9. スポーツ史学会研究助成について

令和5(2023)年度より、スポーツ史研究の活性化及び研究の質の向上に寄与することを目的に研究助成を開始しております。募集の詳細につきましてHP、メーリングリスト、にてお知らせしております。ふるってご応募ください。

10. スポーツ史学会30周年記念誌の献本

2017年度にスポーツ史学会30周年記念誌『スポーツ史研究の未来』が完成し、会員の皆様にお届けしました。

事務局に若干の余部がございます。ご希望の会員にお分けしますので、事務局までご連絡ください。送料は事務局で負担いたします。

11. スポーツ史学会第36回大会について

第38回大会は、以下の通り開催予定です。

期 日： 2024年11月末～12月初頭予定

会 場： 早稲田大学

第38回大会担当:石井昌幸 会員

12. メーリングリスト作成および会員情報の集約について

現在、スポーツ史学会ではメーリングリスト作成及び会員情報の集約を行っています。一部サービスをe-mailにて試行開始しておりますので、未登録の方は、下記のいずれかの方法で会員情報をご登録下さい。

1) QRコードを読み取りGoogle Formsに入力



2) 本学会だよりと同封の「会員情報登録用紙」に入力した情報を事務局にe-mailで送信ないし郵送(登録内容をメール本文に記載して事務局にe-mailで送信する方法でも受け付けます)

3) スポーツ史学会HPから登録フォーム(Google Forms)に入力

II. 理事会報告

第167回理事会

第167回理事会が次の通り開催されました。

期 日： 12月3日(日) 12時10分～13時5分

会 場： 東海学園大学

出席者:松本芳明(会長)、松浪稔(理事長)、鶴木千加子、池田恵子、木村華織(学会大会担当理事)、佐々木浩雄、谷釜尋徳、中房敏朗、新名佐知子、松本彰之、神田俊平(事務局)

議長:谷釜尋徳

1. 議事録確認

1) 第166回理事会議事録の確認

2. メール審議

1) 新規入会について

2) ひすぼ117号特集テーマについて

3) 令和4(2022)年度会計収支決算案の承認について

4) 会員の退会について

3. 報告事項

1) 会況報告

2) 「スポーツ史研究」第37号の編集進捗状況

3) 「ひすぼ」進捗状況

4) 次期学会大会(第38回)について

4. 審議事項

1) 2023年度総会の進行について

2) 2023年度 総会の審議事項の承認について

3) 年間計画について

4) その他

Ⅲ. 編集委員会報告

1. 『スポーツ史研究』への投稿

現在、2024年3月発行予定の第37号の編集作業を進めております。

『スポーツ史研究』への投稿は随時受け付けております。投稿規程ならびに執筆要領は『スポーツ史研究』の見開き及び学会ホームページに掲載されていますので、投稿前に必ずご確認ください。

投稿先は、次の通りです。

〒658-8501

兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1

甲南大学 全学共通教育センター 鷗木研究室

スポーツ史研究編集委員会 宛

ikarugi@konan-u.ac.jp

Ⅳ. 会報『ひすぼ』報告

1. 『ひすぼ』特集テーマの募集について

現在、第118号以降の特集テーマを募集していますので、事務局までお寄せください。皆様からの積極的なご提案をお待ちしております。

Ⅴ. 会員の動向

1. 入会・退会・種別変更

<入会>

次の方の入会が承認されました。(敬称略)

正会員

針ヶ谷 雅子(2023年10月10日承認)

学生会員

鬼頭 茉衣(2023年10月10日承認)

2. 所属変更について

所属、連絡先住所等に変更があった場合には、必ず事務局までご一報ください。**所属変更、連絡先の変更がないまま住所不明になる会員もいらっしゃいます。**

なお、会員の皆様への諸連絡を円滑にするために、**メールアドレスに変更があった方は、必ず事務局までお知らせ下さい。**

3. 会員資格の喪失と退会について

スポーツ史学会会則第9条に則り、3年間会費未納の方は、会員資格を喪失します。

現在、15名の方が、2021年度以降の年会費未納となっております。2023年度末で会員資格を喪失することになりますので、該当する会員は至急会費の納入をお願いいたします。

また、会員が本学会を退会する際には、会員であった期間の会費を納入していただいたからの退会承認となります。

大学院を修了し、研究活動を継続せず退会する場合は、退会手続(事務局へご連絡ください)を忘れずにしてください。退会手続が遅れると、次年度の会費が発生します。学生会員の推薦者となった会員の先生も、この点にご留意いただき、ご指導をお願いいたします。特に留学生の帰国の際に、会員継続の意思がない場合は退会手続を忘れずにお願いいたします。

Ⅵ. その他

【訃報】

スポーツ史学会元会長の藤井英嘉氏(賛助会員)が2023年11月30日にご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。